

2 台湾との友好交流 ～視察とイベント編～

台湾のレジャー農業関係の政府関係者や大学教授、経営者の皆さん約40名が、8月31日～9月2日と9月7日～9日の2回にわかれて市を訪れました。市内の農業関係施設を中心に訪問し、笠間の農産物や地場産品の活用方法などを視察しました。

そして、10月7日～9日まで開催された「第12回笠間浪漫」では、台湾フェアが開かれたほか、台湾先住民の皆さん「台湾原住民舞蹈『Aboriginal Unity』」が本場の素敵なパフォーマンスを披露し、会場から大きな拍手がおくられました。

また、市から台湾へ出向き、台湾最大の陶磁器のまちである新北市鶯歌で開催された陶磁器イベント「産地開放日」へ10月6日に参加し、笠間焼の展示販売や笠間焼作家の菊地弘さんによるワークショップを行いました。

これからも笠間市と台湾は、互いに往来しながら継続した交流を行っていきます。



レジャー農業関係の皆さんが来訪



台湾原住民舞蹈『Aboriginal Unity』の皆さんとの記念撮影(笠間浪漫)



「産地開放日」イベントの様子



1 台湾との友好交流 ～学校編～

今年1月から3月まで北川根小学校と英語の授業を通じてオンライン交流をしてきた台湾の溪口小学校の児童の皆さんが、9月20日に北川根小学校を訪問し、ついに対面交流が実現しました。

また、台湾農業部農糧署から、今年も台湾のブントンを贈呈いただき、市内すべての中学校・義務教育学校(後期課程)の給食で提供されました。笠間中学校では9月21日に交流給食が行われ、「甘くて美味しい」と生徒たちは感激していました。

市では、これからも子どもたちの豊かな国際性を養うためのさまざまな交流を続けていきます。



北川根小学校での交流の様子



笠間中学校でのブントンの贈呈式の様子
(写真左は台北駐日経済文化代表處 蔡次長)

3 ラグビー選手から直接教わりました

9/14

流通経済大学ラグビー部の監督1名と選手2名の皆さんによる「ラグビー教室」が、大原小学校の1・2年生を対象に行われました。

選手たちはもちろん、児童の保護者の皆さんも参加して親子でパスやラン、ボール運びなどで協力したり、チーム戦があったりと、楽しめるような内容が盛りだくさんで、終始笑顔あふれる教室になりました。

流通経済大学ラグビー部の皆さん、ありがとうございました。



ラグビー教室の様子

6

「私の地元応援募金」などの寄附をいただきました

9/25

明治安田生命保険相互会社から711,500円の寄附をいただきました。

今年で4回目となるこの寄附は、同社従業員の皆さんの「豊かな地域社会づくりを応援するために」という思いが込められた募金と、同社からの寄附である「私の地元応援募金」を合わせていただいたものです。

いただいた寄附は子育て施策の財源として活用させていただきます。

ご厚意に感謝します。



(左から)山口市長、明治安田生命保険相互会社 水戸支社 中平康弘支社長

4

栗拾い、楽しかったよ

9/13

ともべ保育所の年中・年長さんが、市内のかねこ農園で栗拾い体験をしました。

ほとんどの子どもたちが初めての栗拾い体験でしたが、同農園の金子^{かねこ}さんから丁寧に教えていただき、上手に安全に栗を拾うことができました。

子どもたちは、大きく、つやつやした栗に夢中で、大満足な表情でした。

金子さん、ご協力ありがとうございました。



年長の皆さん



年中の皆さん

7

フレンドリータウン協定を締結しました

9/27

「笠間市と株式会社茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメントとのフレンドリータウン協定」の締結式が市役所で行われました。

この協定は、市と茨城ロボッツのそれぞれの資源を有効活用することで、スポーツを通じた地域振興や青少年の健全育成、市民の健康増進等の実現に資することを目的としています。

皆さん、一緒に茨城ロボッツを応援しましょう！



(左から) (株)茨城ロボッツ・スポーツエンターテインメント 西村大介代表取締役社長、山口市長

5

ボートレースの売り上げが地域貢献に！

ボートレースチケットショップ岩間^{はまなこ}は、浜名湖競艇企業団(静岡県浜松市・湖西市)がモーターボート競走法に基づいて開場しているボートレースの場外発売場です。

同企業団は、市と協定を締結しており、毎年売上の一部(令和4年度は約4,440万円)が地域貢献の一環として市に支払われ、市では行政運営の貴重な財源として活用しています。

また、「笠間の菊まつり」期間中には同施設に菊を展示し、多くの来場者へPRを行うなど、地元から愛される施設を目指した取り組みを行っています。



ボートレースチケットショップ岩間



菊展示の様子

10 たくさんのクラシックカーに大興奮！

10/8

クラシックカーが公道を走る「ラ フェスタ ミツレミア2023」が、10月6日に東京都の原宿をスタートし、笠間市内も通過しました。

このイベントは、茨城県のほかに福島県や栃木県を通過し、約1,000キロを走行する大規模なものです。

市内通過の際は、チェックポイントとなっている笠間稲荷神社で山口市長がドライバーの通過証明書にスタンプを押しました。また、笠間稲荷囃子保存会の皆さんが歓迎の演奏などを行い、盛大にお出迎えしました。



笠間市を通過するクラシックカー（門前通りにて）

11 動く市役所がいよいよ出発

10/10

市と株式会社日立製作所、株式会社日立システムズ、MONET Technologies株式会社（モネ）が連携してデジタル活用による課題解決の一環として取り組む「動く市役所」の出発式が行われました。

動く市役所は、車の中に「汎用デジタル窓口」を搭載し、市役所職員とのビデオ通話による相談や申請支援等を実施することができます。

10月17日から福原地区で本格的に運用を開始し、今後、段階的にサービスの拡大を進めていきます。



出発式の様子（市役所本所）



車内の様子

8 子どもたちの安心安全のために寄贈いただきました

9/27

関東鉄道株式会社から市内の新小学生575名分のリフレクター（反射板）が贈呈され、市教育長室で贈呈式が行われました。

これは、同社が創立100周年記念事業の一環で行っているもので、笠間市を含めた県内の同鉄道や路線バスの沿線の小学1年生に寄贈されています。

このリフレクターは、ランドセルに付けて使用できるキーホルダー型で、安全な登下校の助けとなります。

寄贈いただき、ありがとうございました。



（左から）笠間警察署 星健二副署長、
関東水戸タクシー（株）江橋庄市代表取締役社長、小沼教育長
（右）寄贈いただいたリフレクター

9 文化財を継承していくために

9/29・30

「重要文化財 笠間稲荷神社本殿 保存修理工事」の現場見学会を同神社で開催しました。

今回の本瓦形銅板葺き屋根の全面葺き替えは、江戸時代後期の建立以来初めてとなる大規模な保存修理工事です。文化財の保存修理は、できる限り既存の部材を丁寧に外して補修し、元あった場所に戻すという手法で、時間と手間がかかります。参加者は工事関係者の説明に熱心に耳を傾けながら貴重な文化財を間近で見学し、先人たちの技と長い歴史に想いを馳せました。

工事完了は令和7年3月を予定しています。職人技の結集により修復された本殿屋根のお披露目にご期待ください。



現場見学会の様子



小中学生向けの解説も行いました

12 多様性を尊重し合う社会を目指して

10/15

笠間市ダイバーシティ&インクルージョン推進講演会「今、事業者として知っておきたいLGBTQ+2023」が友部公民館で開催されました。

「ダイバーシティ」とは多様性を尊重すること、「インクルージョン」とは互いに認め合い共生することです。講演会には、自身もトランスジェンダーである株式会社アカルク(大阪市)の堀川歩さんが講師として登壇しました。

講演後に質問コーナーもあり、堀川さんが一人ずつ丁寧に答えていました。



堀川さん

14 初開催！県内最大規模の ブレイキン大会

10/22

2024年パリオリンピックで正式種目となるブレイキン(ブレイクダンス)の県内最大規模の大会「Breakin' 1 on 1 Battle KASAMA 舞闘炎 Vol.01」が、笠間芸術の森公園の野外コンサート広場で開催され、全国から141名が出場しました。

大会名の「舞闘炎」はオリジナルの名称で、宙を「舞い」踊り、躍動するブレイキンの「闘志」溢れる、「炎」のような熱いバトルをイメージして名づけられました。そのイメージ通り、当日は熱いバトルが繰り広げられ、会場は大興奮に包まれました。

入賞した皆さん、おめでとうございます。



大会入賞者と大会関係者の皆さん

13 初の試み！ 災害時の応急給水訓練を実施

10/18

災害時の応急給水のための訓練が笠間中央公園で行われました。

今回の訓練は初の実施で、市水道課と市の水道事業を包括委託している第一環境株式会社の合同で開催。被災者へ水を配布するという想定で、「消火栓から給水車への充水」と「給水車から災害用給水袋への給水」が行われました。

市では今後も、いろいろな災害の状況を想定したさまざまな訓練を行っていきます。



訓練の様子

15 募金のご協力ありがとうございました

世界で発生した災害で被災された方々への支援のため、2月10日～3月10日に「トルコ・シリア地震災害支援義援金」、9月1日～28日に「2023年アメリカ・ハワイ火災救援金」、9月13日～10月13日に「2023年モロッコ地震救援金」の募金活動を市役所本所と各支所で開催しました。また、トルコ・シリア支援義援金は市内の施設や学校でも募金活動が行われ、市役所にお持ちいただきました。

皆さんからの募金は、それぞれ駐日トルコ共和国大使館、駐日シリア・アラブ共和国大使館、日本赤十字社を通じて寄附しました。ご協力ありがとうございました。

